

(2) 周辺市街地の幹線道路網の整備の検討

1) 既存計画における周辺市街地の幹線道路整備の方向性

① 「中間取りまとめ」における方向性

「中間取りまとめ」においては、周辺市街地における幹線道路の整備として、周辺市街地整備から見た道路構造・ルートを選定、周辺市街地における幹線道路の早期整備の推進を行うことを提案している。

- ・ 周辺市街地における幹線道路の整備
 - ⇒ 周辺市街地整備から見た道路構造・ルートを選定
 - ⇒ 周辺市街地における幹線道路の早期整備の推進

出典：普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けた「全体計画の中間取りまとめ」(平成 25 年 3 月)

② 宜野湾市都市計画マスタープランにおける幹線道路整備の考え方

宜野湾市都市計画マスタープランでは、基地返還前に整備すべき地区の考え方を整理している。具体的には、跡地利用のスムーズな開始に関わる地区の優先順位が高くなること等を整理している。

■ 基地返還前に整備すべき地区の考え方 (抜粋)

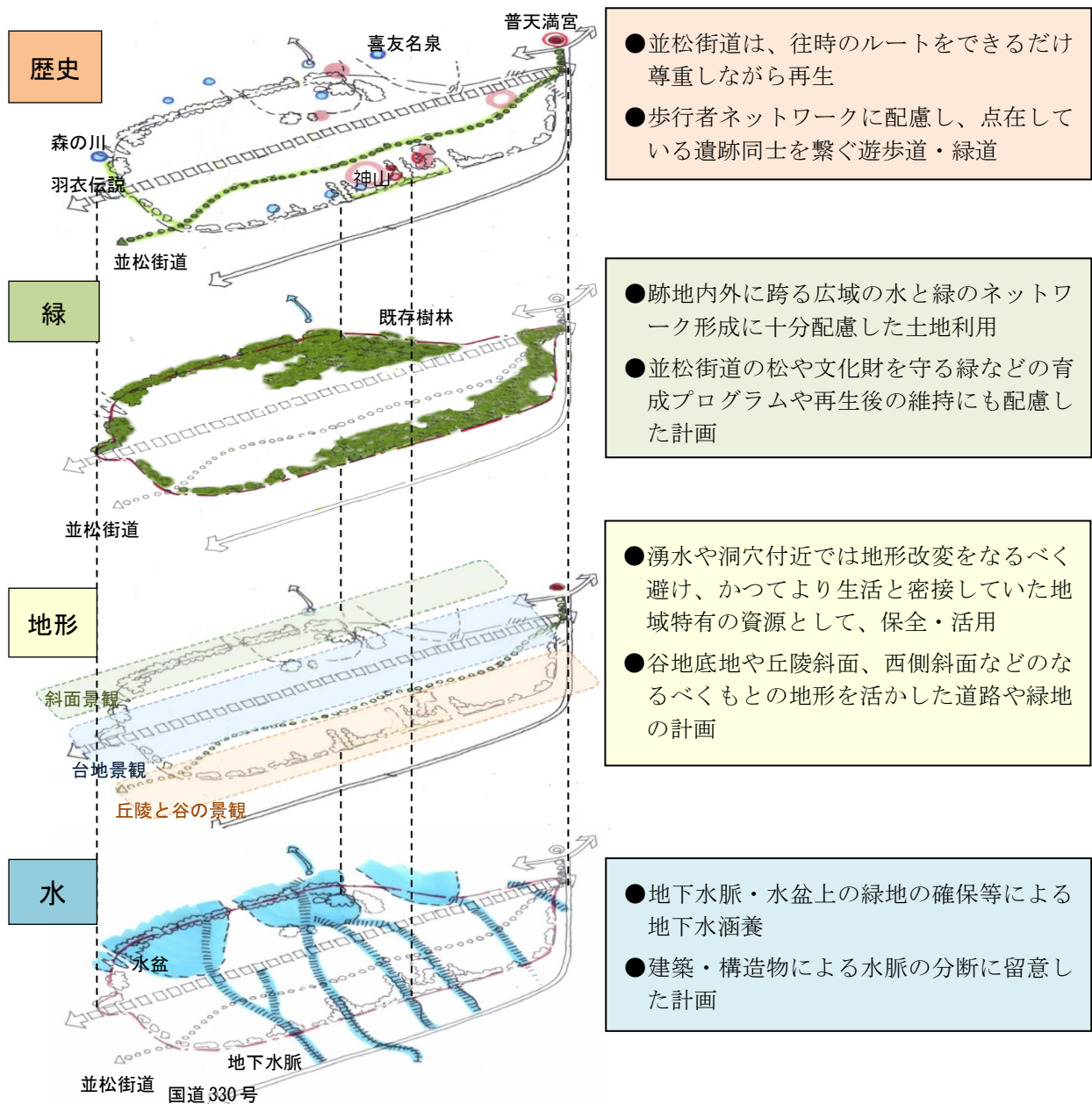
- ・ 跡地利用のスムーズな開始に直接関わる地区は優先順位が高くなります。
- ・ 跡地整備が優先的に行われる地区（高次都市機能用地、地権者利用用地エリア）に接続している幹線道路は、早急に整備する必要があります。
- ・ 基地エリアは、広大であることから（東西約 1.5 km、南北約 3 km）、東西方向に 2 ヶ所、南北方向に 1 ヶ所幹線道路に接続させることが望まれます。

出典：宜野湾市都市計画マスタープラン(平成 16 年 10 月/宜野湾市)

2) 環境づくりの反映事項の整理

周辺市街地における幹線道路網整備に関わる環境づくりの反映事項は、有識者会議での普遍的資源に関する意見等を踏まえ、以下のように整理できる。

歴史：並松街道の往時のルートの尊重、歩行者ネットワーク形成
 緑：広域ネットワークへの配慮、緑の育成
 地形：もとの地形を活かした道路計画
 水：地下水涵養、水脈分断への配慮



図II-47 普遍的資源を踏まえた周辺市街地における土地利用の考え方

3) 周辺市街地における計画路線の現状

宜野湾市の都市計画道路網として、「中間取りまとめ」で検討されている10路線（中部縦貫道路、宜野湾横断道路除く）について、沿道を含めた現状について整理する。

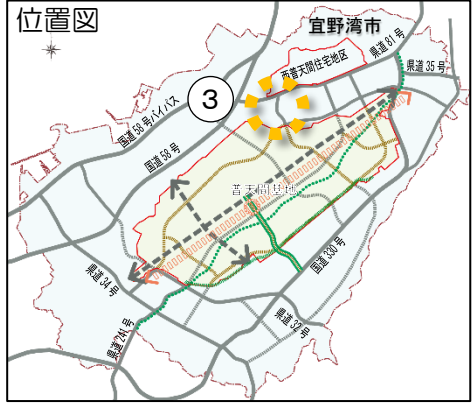


表Ⅱ-39 計画路線1（都）新城線

現状	<table border="1"> <tr> <td>幅員</td> <td>18m（現況）</td> </tr> <tr> <td>沿道市街地</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 沿道サービス施設及び住宅が立地 整然とした市街地が形成 隣接する西普天間住宅地区跡地は、幅員20mで計画 </td> </tr> </table>		幅員	18m（現況）	沿道市街地	<ul style="list-style-type: none"> 沿道サービス施設及び住宅が立地 整然とした市街地が形成 隣接する西普天間住宅地区跡地は、幅員20mで計画 	
	幅員	18m（現況）					
沿道市街地	<ul style="list-style-type: none"> 沿道サービス施設及び住宅が立地 整然とした市街地が形成 隣接する西普天間住宅地区跡地は、幅員20mで計画 						
							
整備した場合	整備による影響	<ul style="list-style-type: none"> 幅員18⇒20mへの拡幅整備を行う場合には、沿道の建物が軒並み支障がある 					
	市街地環境改善への期待	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路ネットワークの形成（西普天間住宅地区跡地～本地区） 西普天間住宅地区跡地の国際医療拠点形成を踏まえた沿道の都市機能の更新が期待 					

表II-40 計画路線2(都)普天間中学校線

現状	<table border="1"> <tr> <td>幅員</td> <td>16m (現況)</td> </tr> <tr> <td>沿道市街地</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 沿道サービス施設及び住宅が立地 一部未整備区間あり 狭隘、行き止まり道路が一部接続 普天間中学校、普天間第二小学校、しのめ保育園(そよ風ひろば)、喜友名公園が立地 </td> </tr> </table>	幅員	16m (現況)	沿道市街地	<ul style="list-style-type: none"> 沿道サービス施設及び住宅が立地 一部未整備区間あり 狭隘、行き止まり道路が一部接続 普天間中学校、普天間第二小学校、しのめ保育園(そよ風ひろば)、喜友名公園が立地 	
	幅員	16m (現況)				
沿道市街地	<ul style="list-style-type: none"> 沿道サービス施設及び住宅が立地 一部未整備区間あり 狭隘、行き止まり道路が一部接続 普天間中学校、普天間第二小学校、しのめ保育園(そよ風ひろば)、喜友名公園が立地 					
整備した場合	<table border="1"> <tr> <td>整備による影響</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 一部歩道部分を除き(都)喜友名登又線まで整備されており、地形的にも本地区への接続は容易 </td> </tr> <tr> <td>市街地環境改善への期待</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 普天間第二小学校、宜野湾中学校の通学路等の連絡性向上 </td> </tr> </table>	整備による影響	<ul style="list-style-type: none"> 一部歩道部分を除き(都)喜友名登又線まで整備されており、地形的にも本地区への接続は容易 	市街地環境改善への期待	<ul style="list-style-type: none"> 普天間第二小学校、宜野湾中学校の通学路等の連絡性向上 	
整備による影響	<ul style="list-style-type: none"> 一部歩道部分を除き(都)喜友名登又線まで整備されており、地形的にも本地区への接続は容易 					
市街地環境改善への期待	<ul style="list-style-type: none"> 普天間第二小学校、宜野湾中学校の通学路等の連絡性向上 					

表II-41 計画路線3 (都)喜友名中央線

現状	<table border="1"> <tr> <td>幅員</td> <td>12m (現況)</td> </tr> <tr> <td>沿道市街地</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅等が立地 ・整形な街区が構成 </td> </tr> </table>		幅員	12m (現況)	沿道市街地	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅等が立地 ・整形な街区が構成 	
	幅員	12m (現況)					
沿道市街地	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅等が立地 ・整形な街区が構成 						
 							
整備した場合	整備による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・(都)喜友名登又線まで整備されており、地形的にも本地区への接続は容易 					
	市街地環境改善への期待	<ul style="list-style-type: none"> ・東西の幹線道路軸の確保 (県道81号線～本地区～国道330号) 					

表Ⅱ-42 計画路線4（仮）東西道路5

現状	<table border="1"> <tr> <td>幅員</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>沿道市街地</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅等が立地 ・ウシナー公園（斜面部）が計画路線上に位置している </td> </tr> </table>		幅員	—	沿道市街地	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅等が立地 ・ウシナー公園（斜面部）が計画路線上に位置している 	
	幅員	—					
沿道市街地	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅等が立地 ・ウシナー公園（斜面部）が計画路線上に位置している 						
整備した場合	整備による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・急勾配のため、既存高さでの本地区への取付は困難 ・もとの地形の維持が困難 					
	市街地環境改善への期待	<ul style="list-style-type: none"> ・不足する東西の幹線道路軸の確保 					

表Ⅱ-43 計画路線5(仮)東西道路4

現状	幅員	—
	沿道市街地	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅が立て込んでいる。 ・狭隘、行き止まり道路等が多く、主要道路がない ・宜野湾市立博物館と近接している
整備した場合	整備による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道の建物・墓地等の支障物件が多く発生する ・急勾配の箇所があるため、高低差を吸収する箇所が必要
	市街地環境改善への期待	<ul style="list-style-type: none"> ・当該エリアの東西の幹線道路軸となる道路形成 ・沿道の適切な土地利用誘導